

都市河川への面源の流出による汚濁負荷の評価と削減対策

11108011 池崎 佑太

背景・目的

我々が生活して行く上で欠かすことのできない水を供給する河川

農耕地や山林からの非人為的汚染(面源)

生活排水や工業排水などの人為的汚染(点源)

河川に窒素、リン等の栄養塩が増加し富栄養化が進み植物プランクトンが増殖



赤潮、アオコが発生し悪臭や水質障害、衛生状況の悪化などの問題



点源からの汚濁物質流失は排水処理技術の進歩により改善されているため、対策がされていない山林および農耕地、面源からの流失に注目し農地など含む小流域を対象に降雨時に流出する窒素・リンなどの水質成分の負荷流出の実態を明らかにし、そこから環境保全に有効な方策を検討することを目的とした

調査河川

境川

東京都町田市草戸山の北東面に源を発し、東京都と神奈川県境界に沿って南東に流れ神奈川県大和市付近から南へ流れを変え、藤沢市の江の島付近で相模湾に注ぐ

調査方法

調査地にて晴天時と降雨時を分けて直接河川から採水を行い、フィルターでろ過し、その成分を分析して比べる。
採水地は比較的農地などが多い流域の橋梁を一つ選ぶ予定

